

< 埼玉 > 症例 1

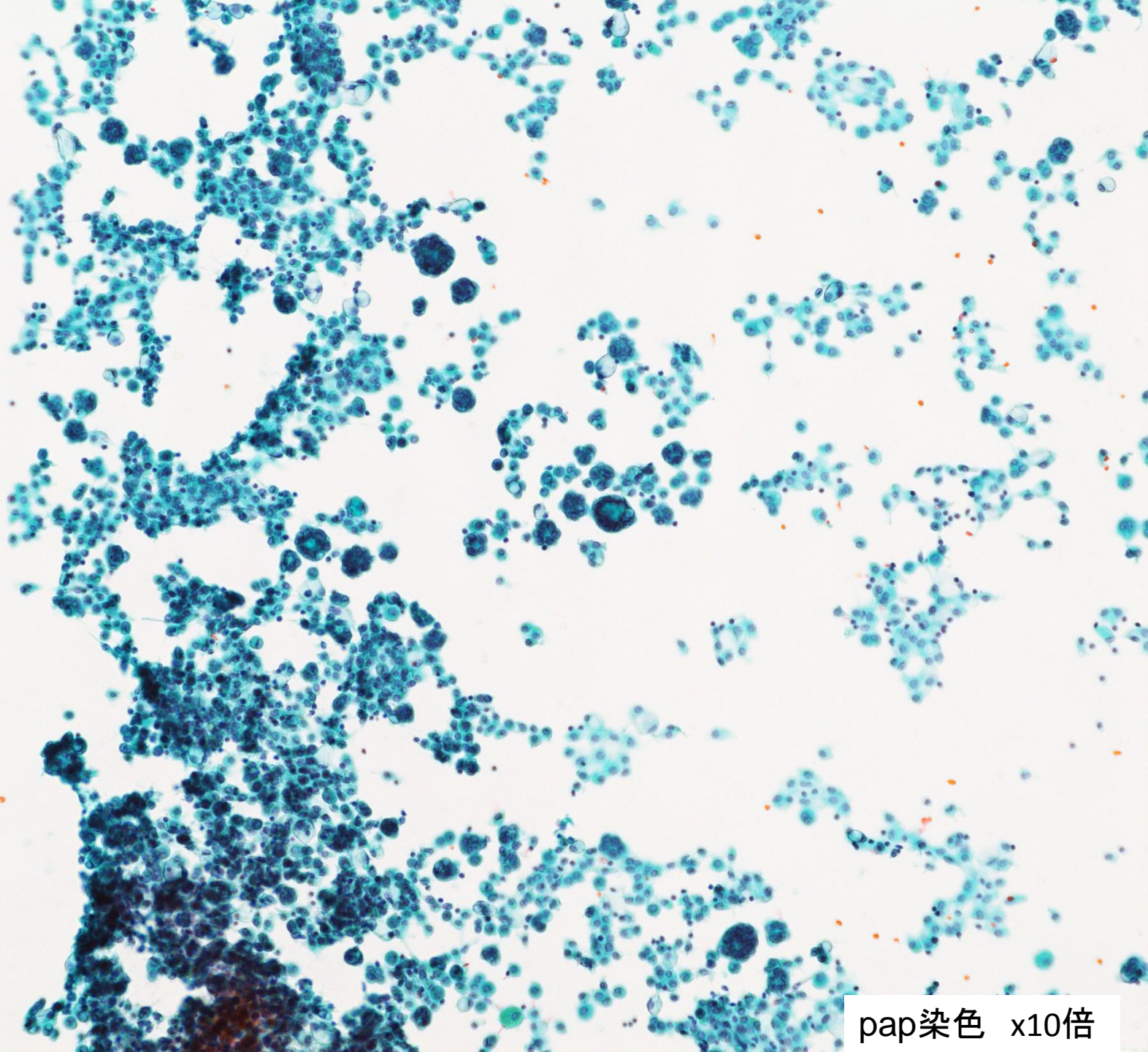
【年齢・性別】 70歳代 女性

【検体・採取法】 体腔液

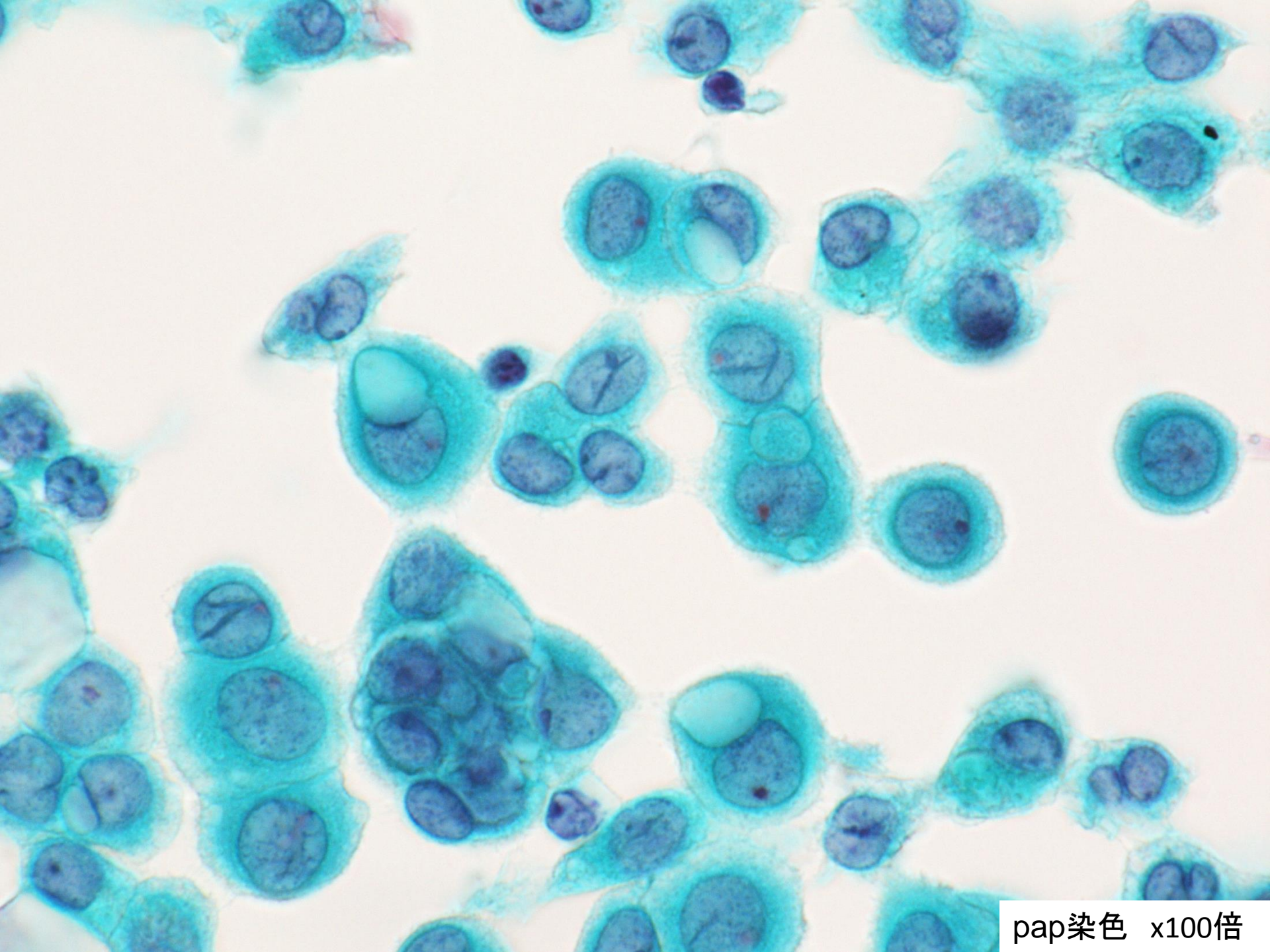
【臨床情報】

右胸膜炎の既往があり、前医で胸水細胞診検査にて class IIIb と診断されたが、CT や PET-CT では原発巣が認められなかった。原発不明の癌性胸水として精査・加療目的で当院に紹介された。

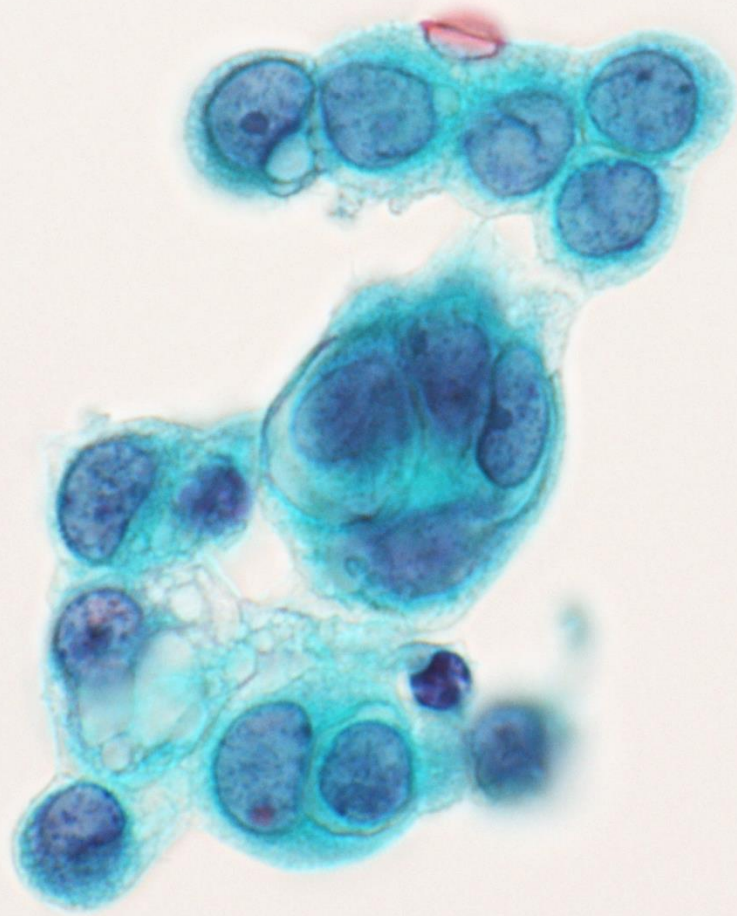
細胞検査と同時に測定されたヒアルロン酸は 2万9000ng/ml であった。



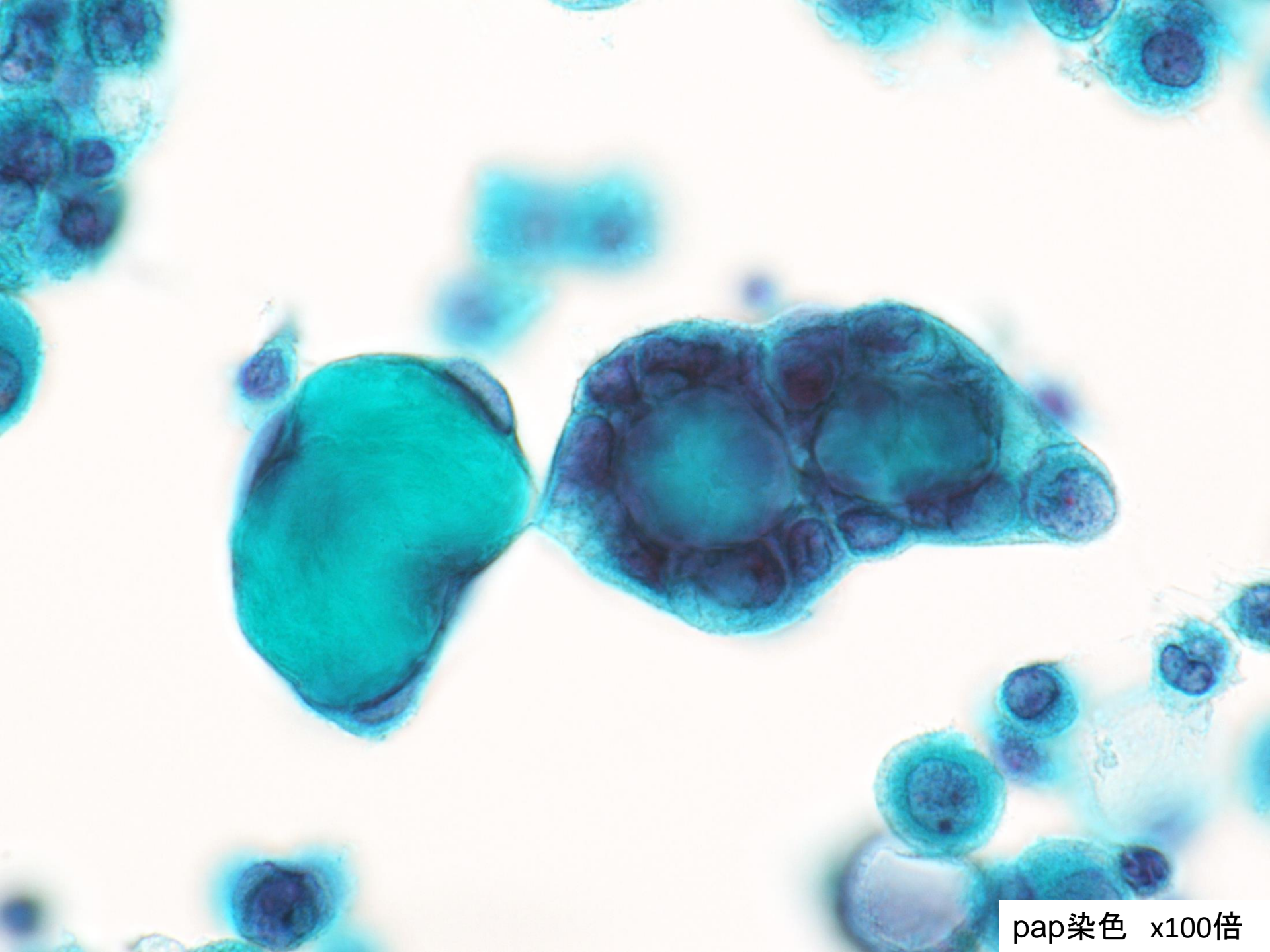
pap染色 x10倍



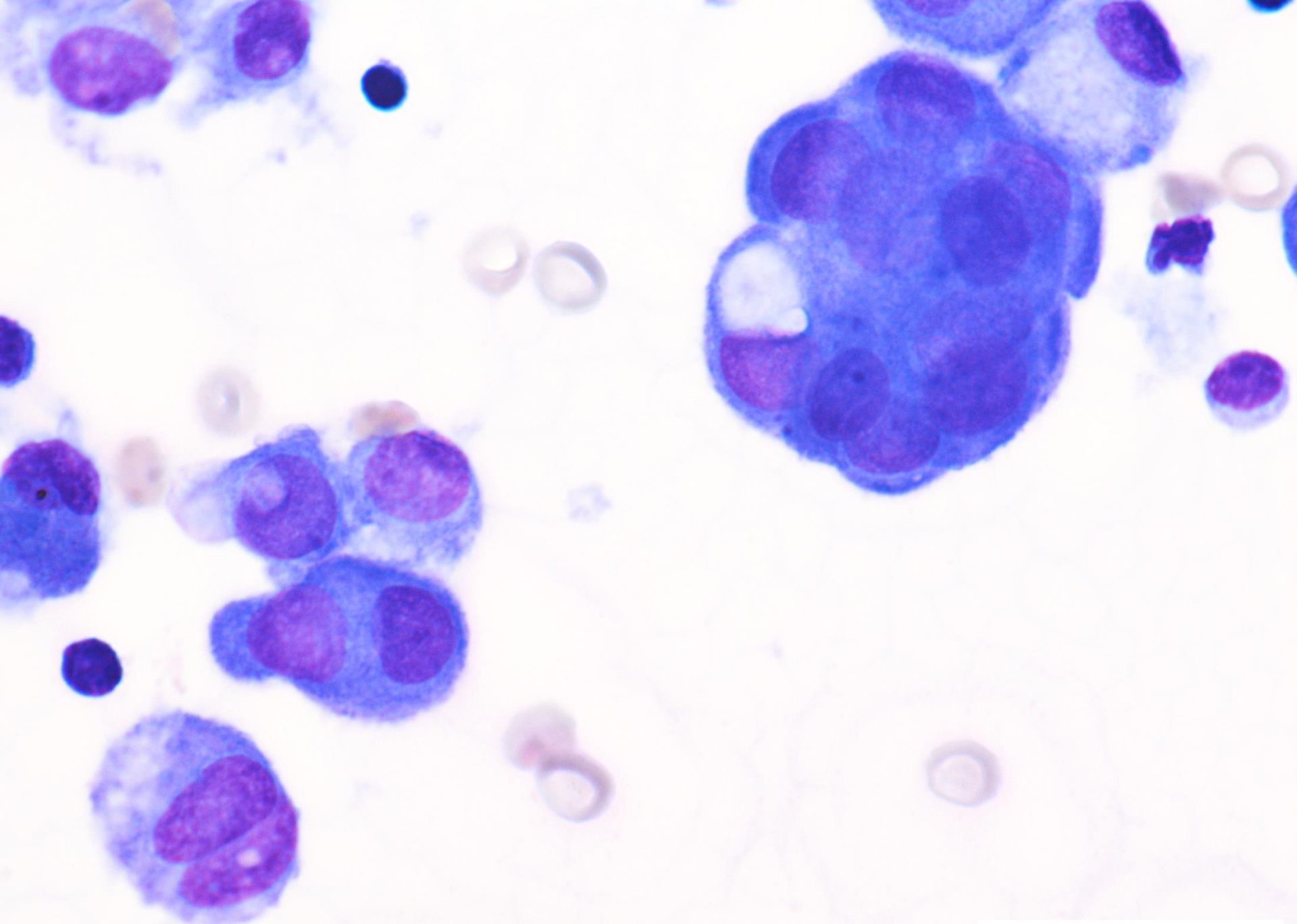
pap染色 x100倍



pap染色 x100倍



pap染色 x100倍



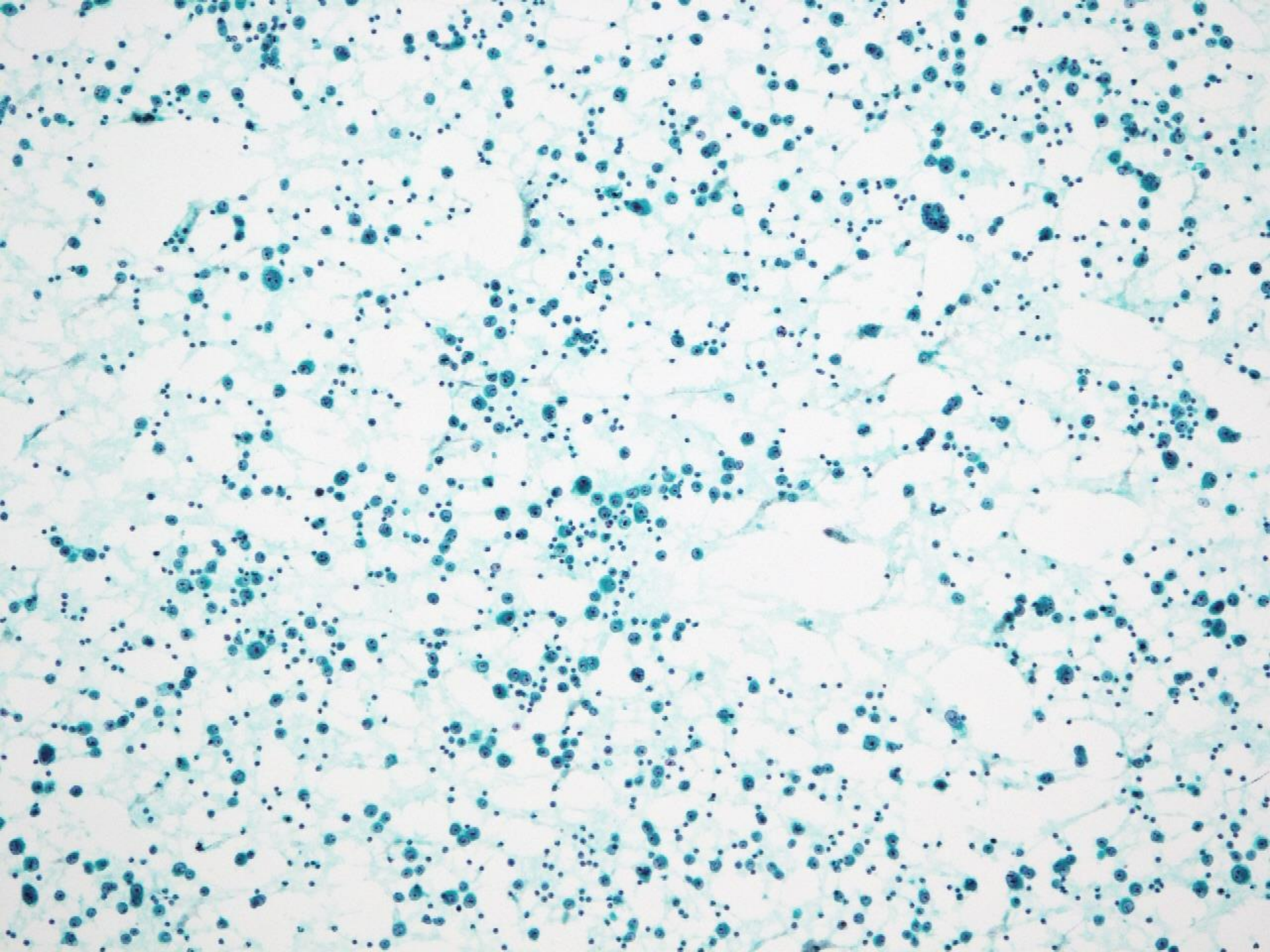
Giemsa染色 x100

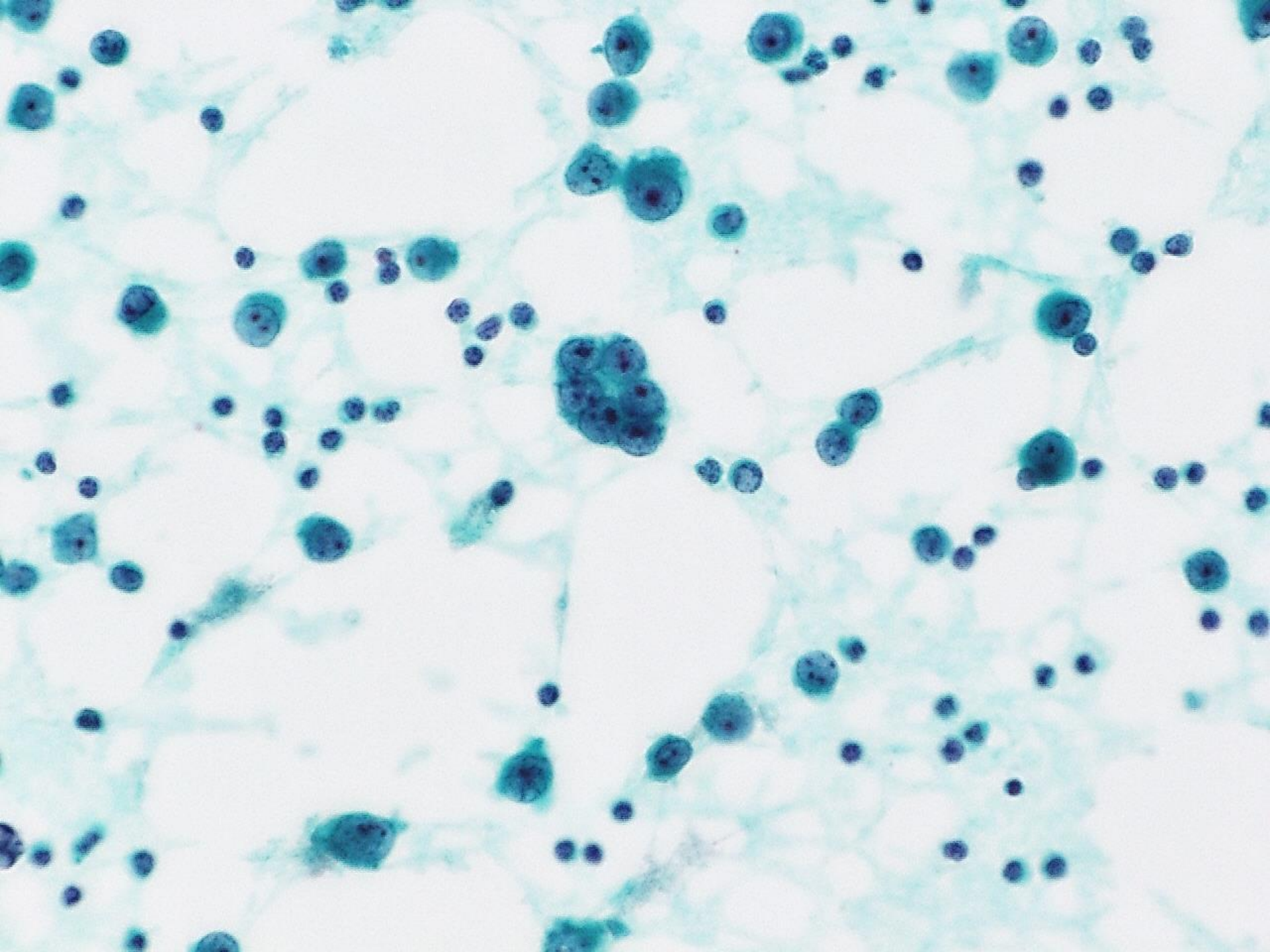
< 埼玉 > 症例 2

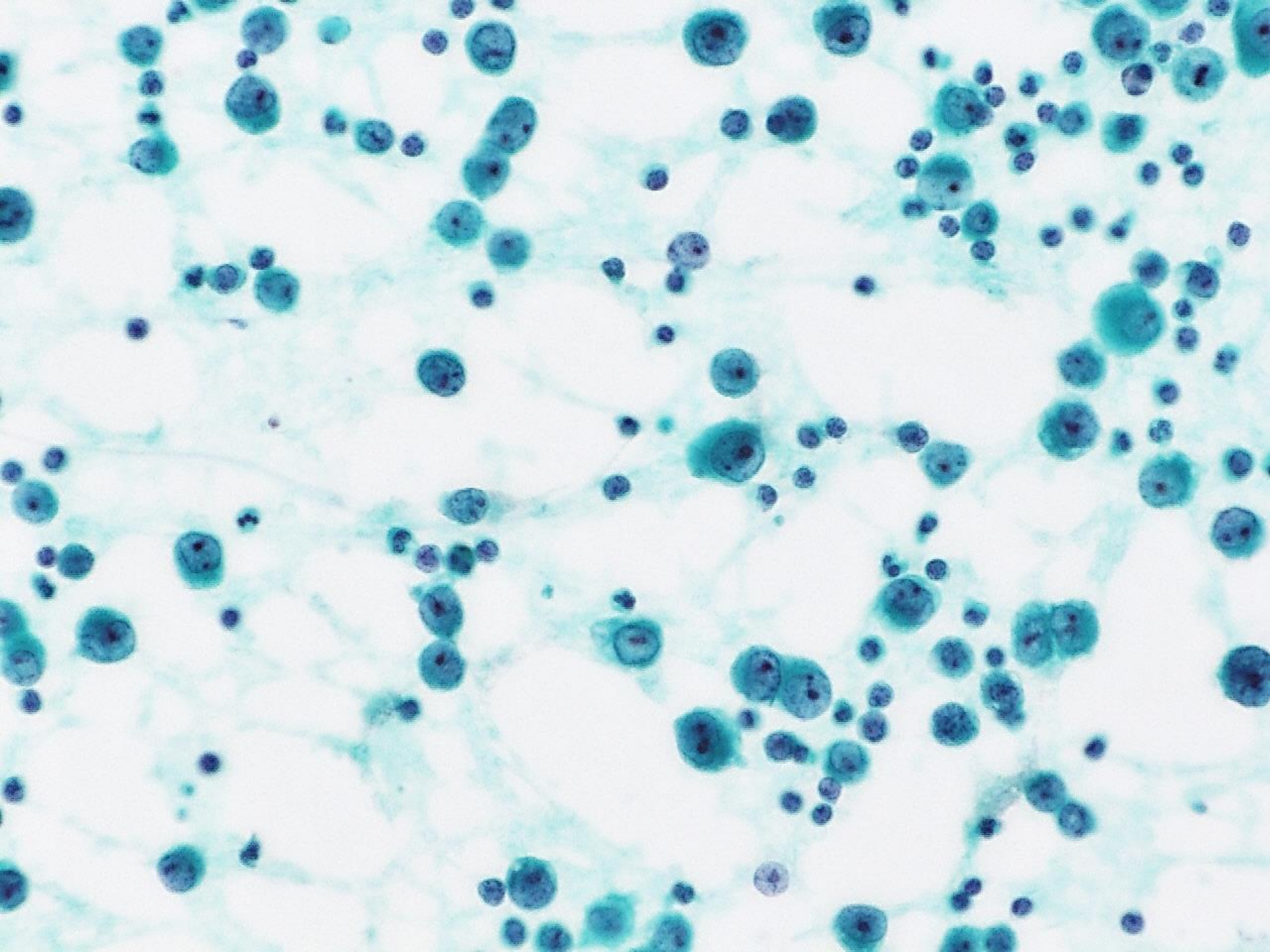
【年齢・性別】 60歳代後半 女性

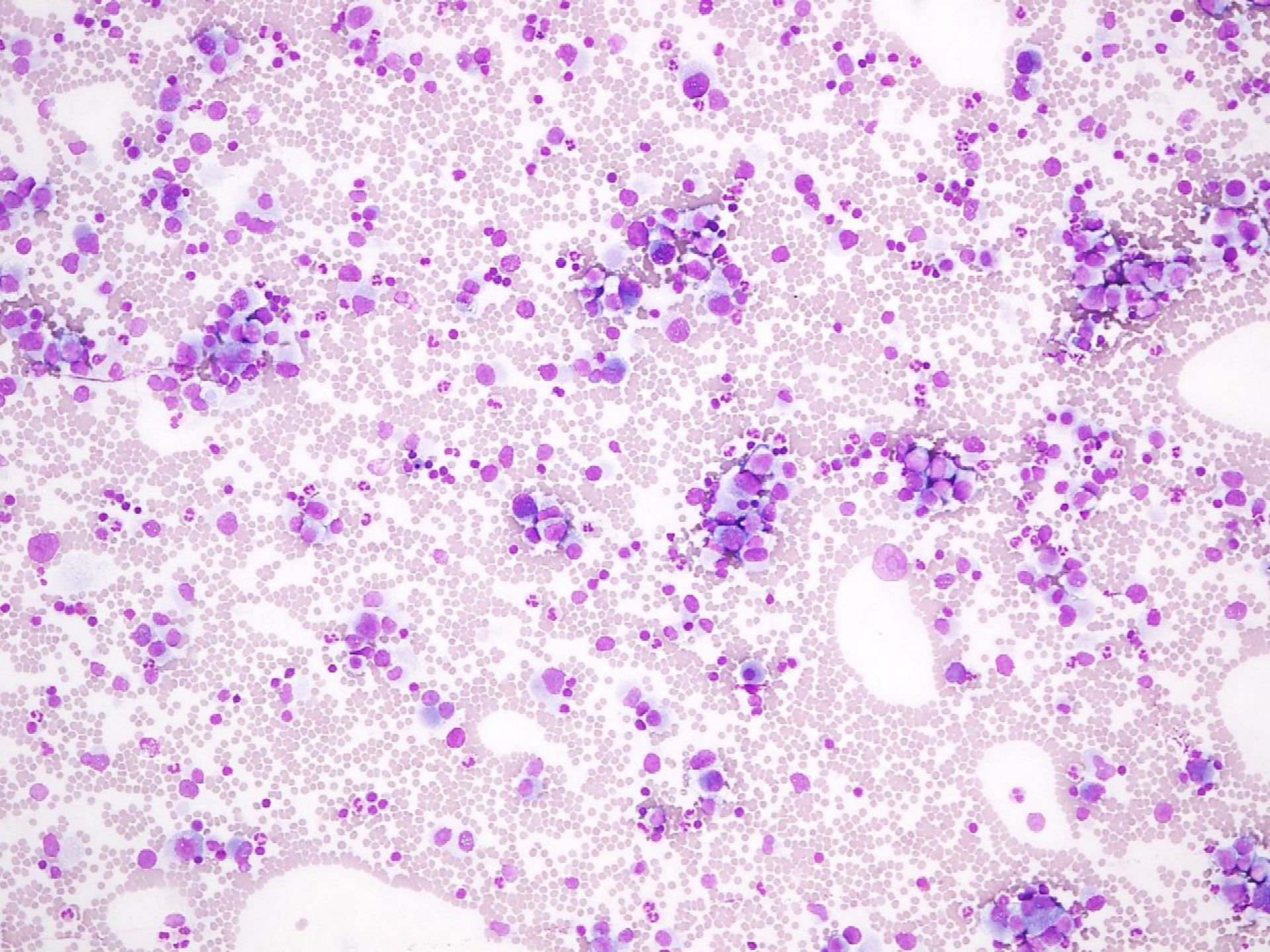
【検体・採取法】 腹腔洗浄液

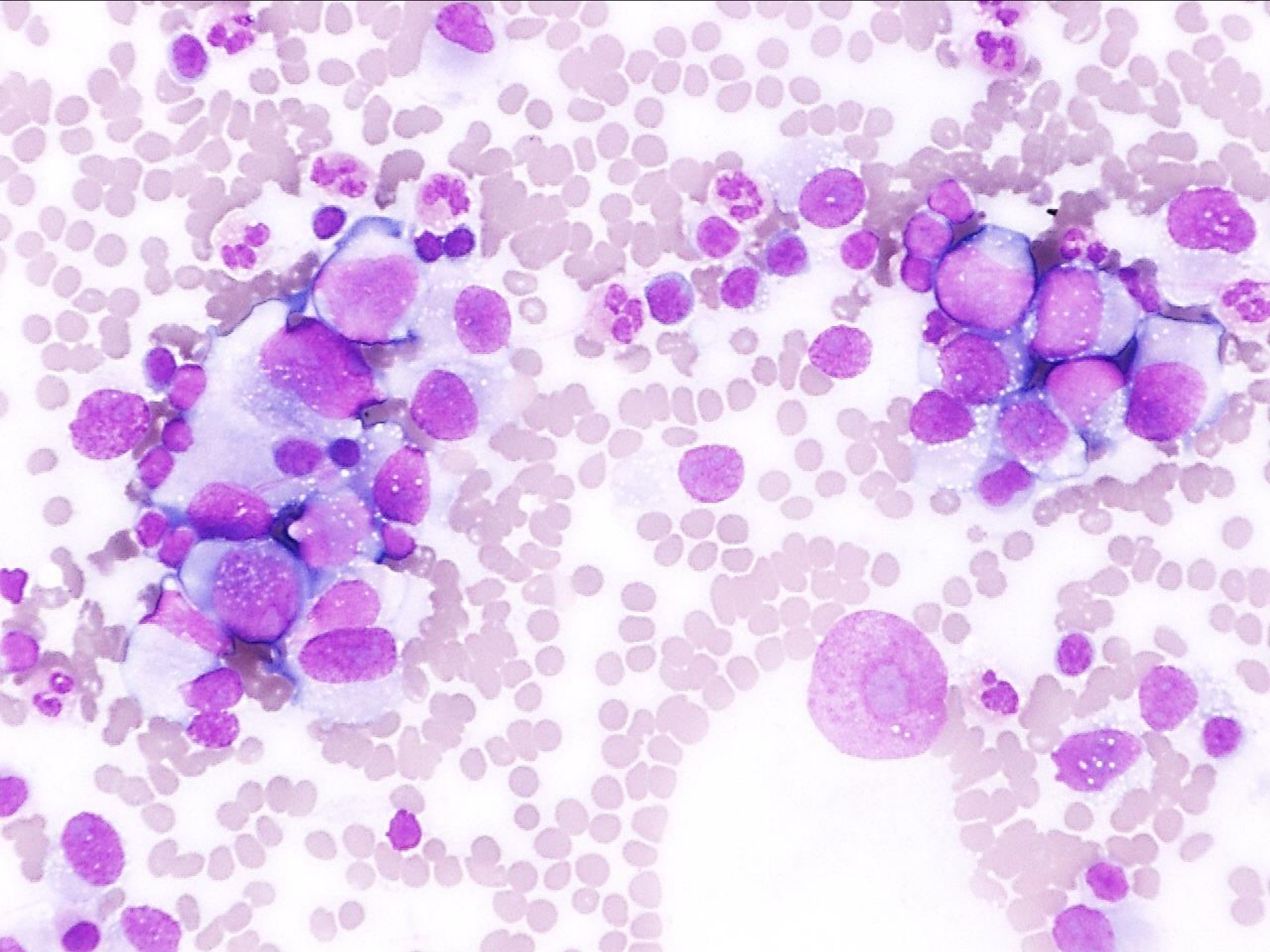
【臨床情報】 子宮、卵巣に腫瘍あり手術施行
術中腹腔洗浄液提出









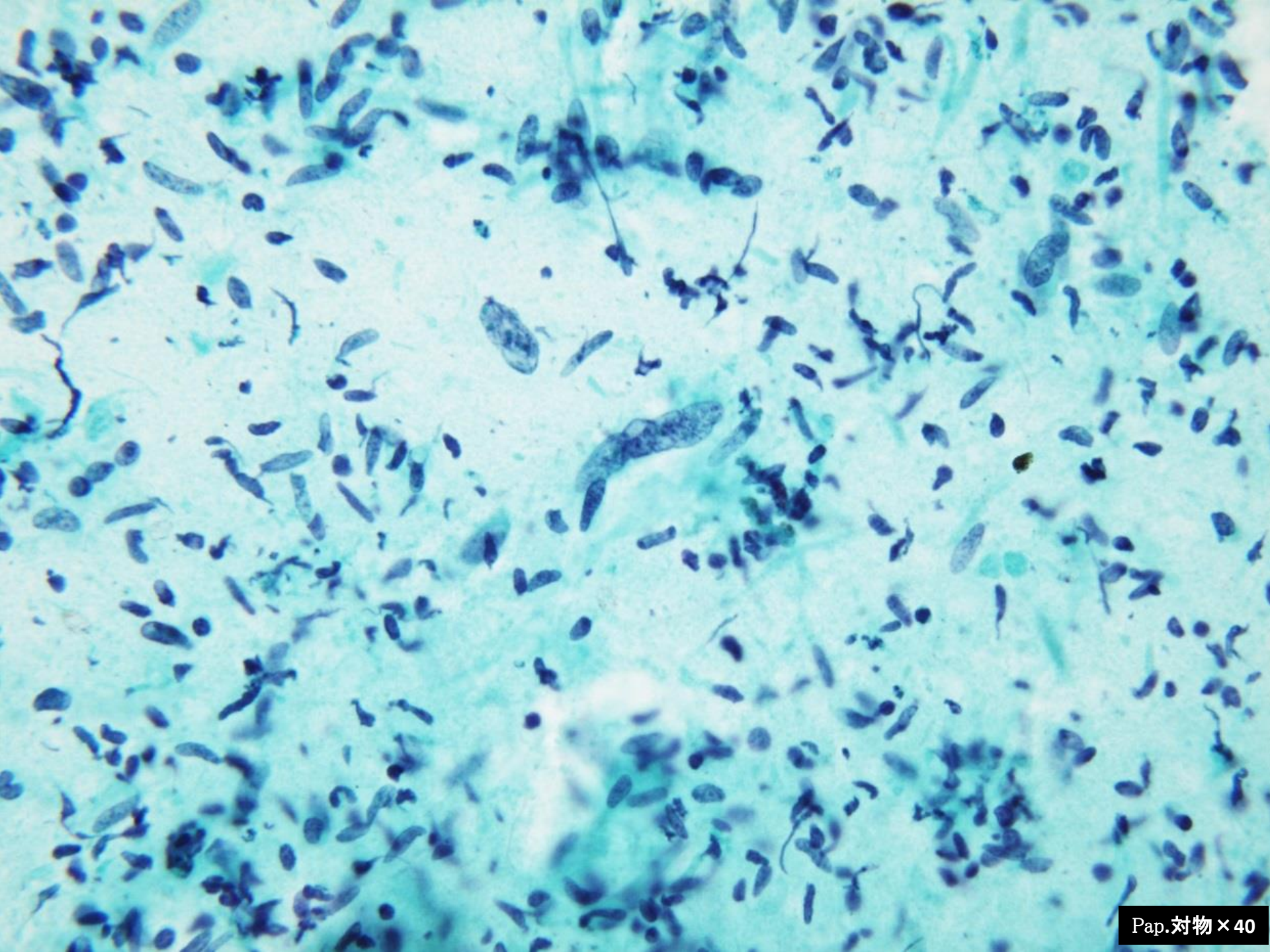


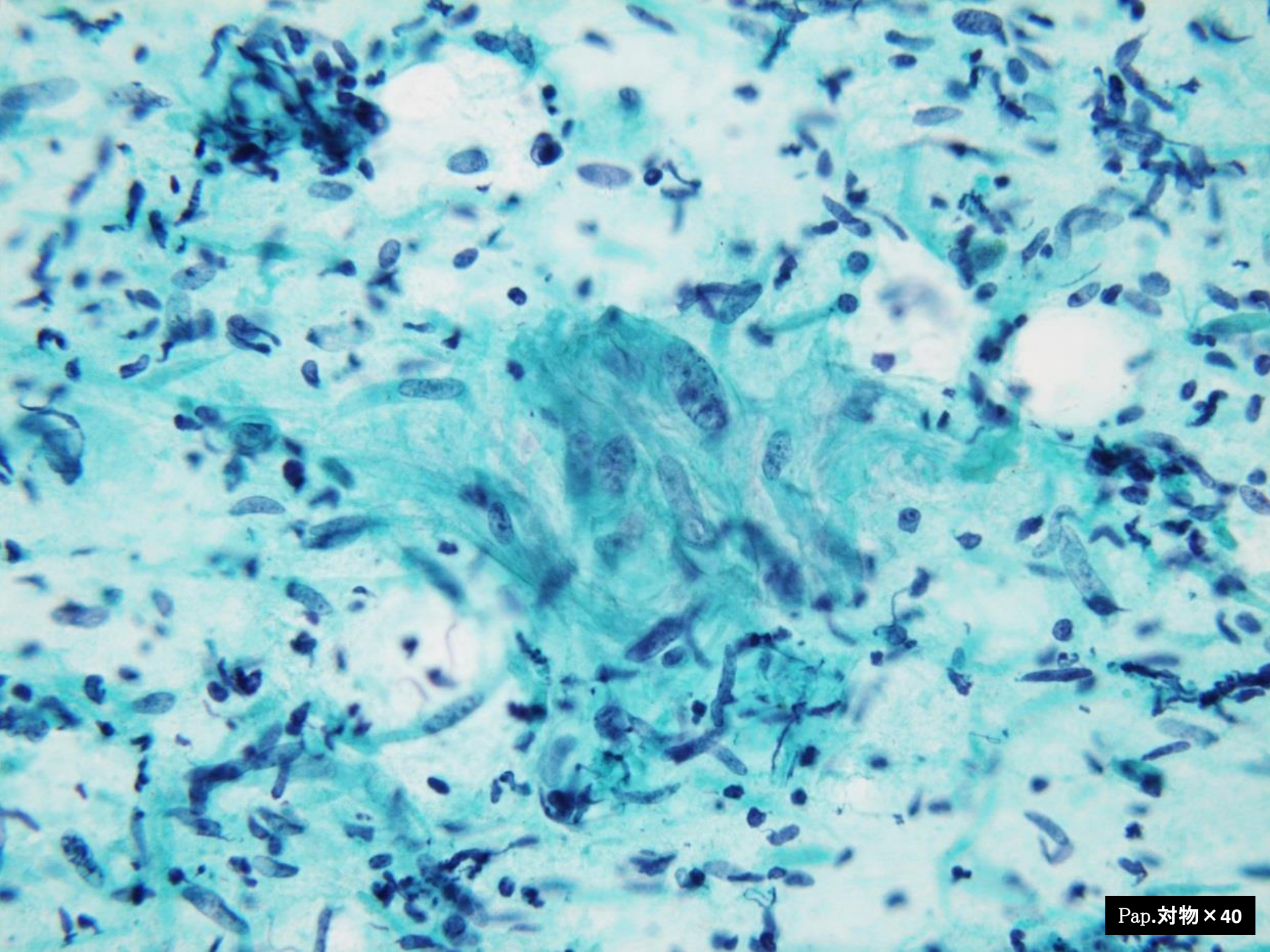
< 埼玉 > 症例 3

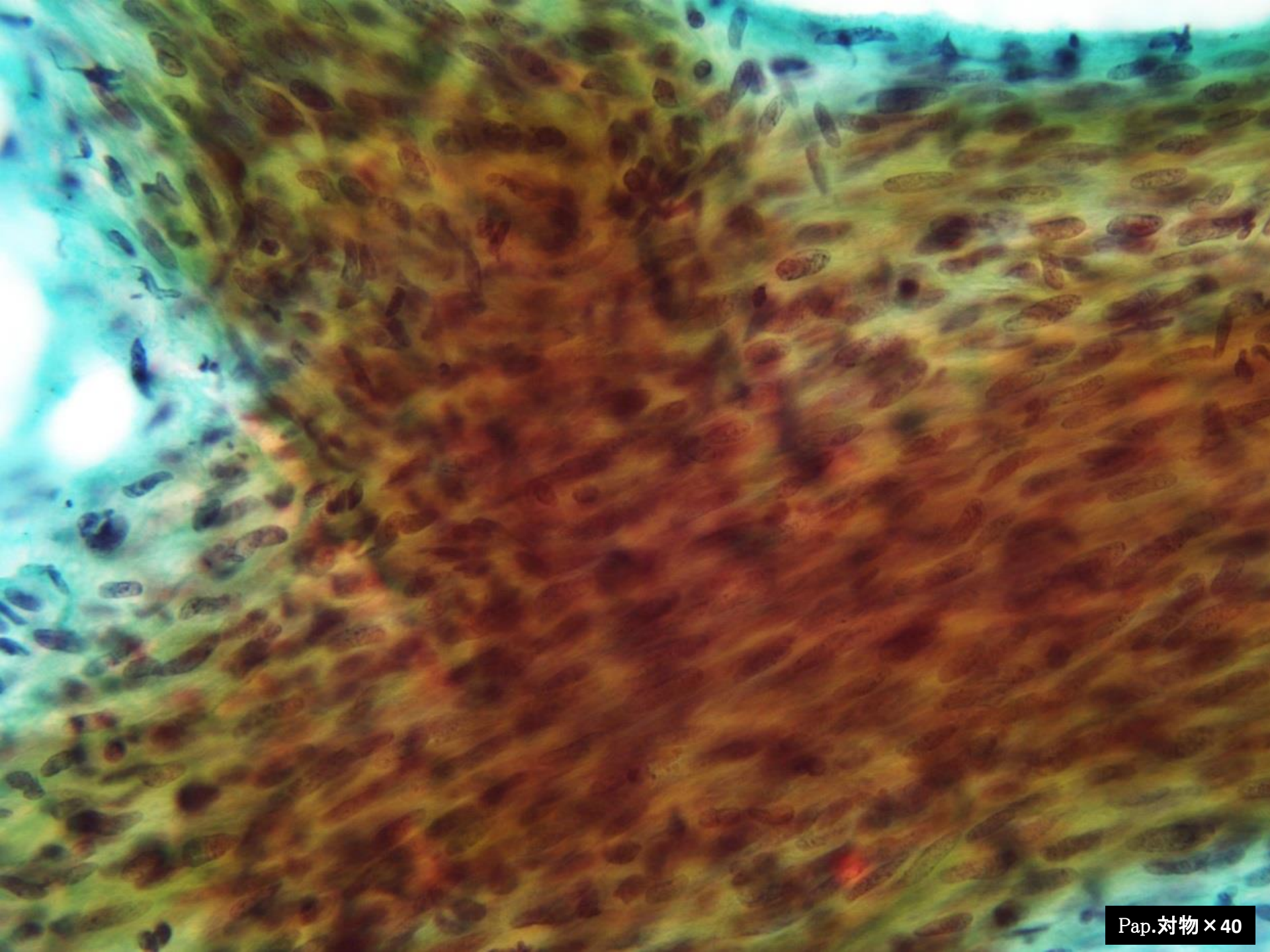
【年齢・性別】 40歳代 女性

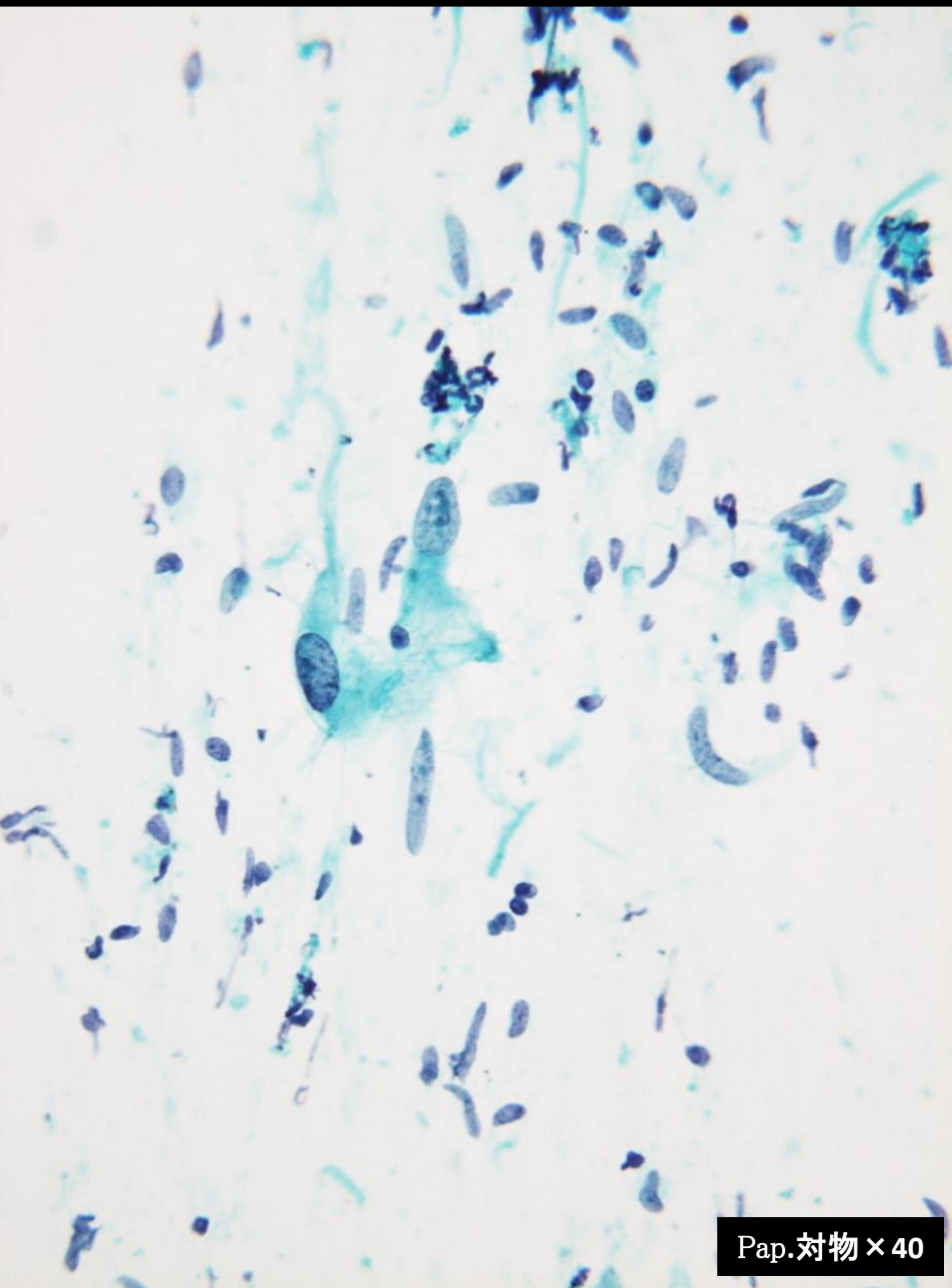
【検体・採取法】 筋腫核摘出、術中捺印

【臨床情報】 子宮腫瘍の疑い

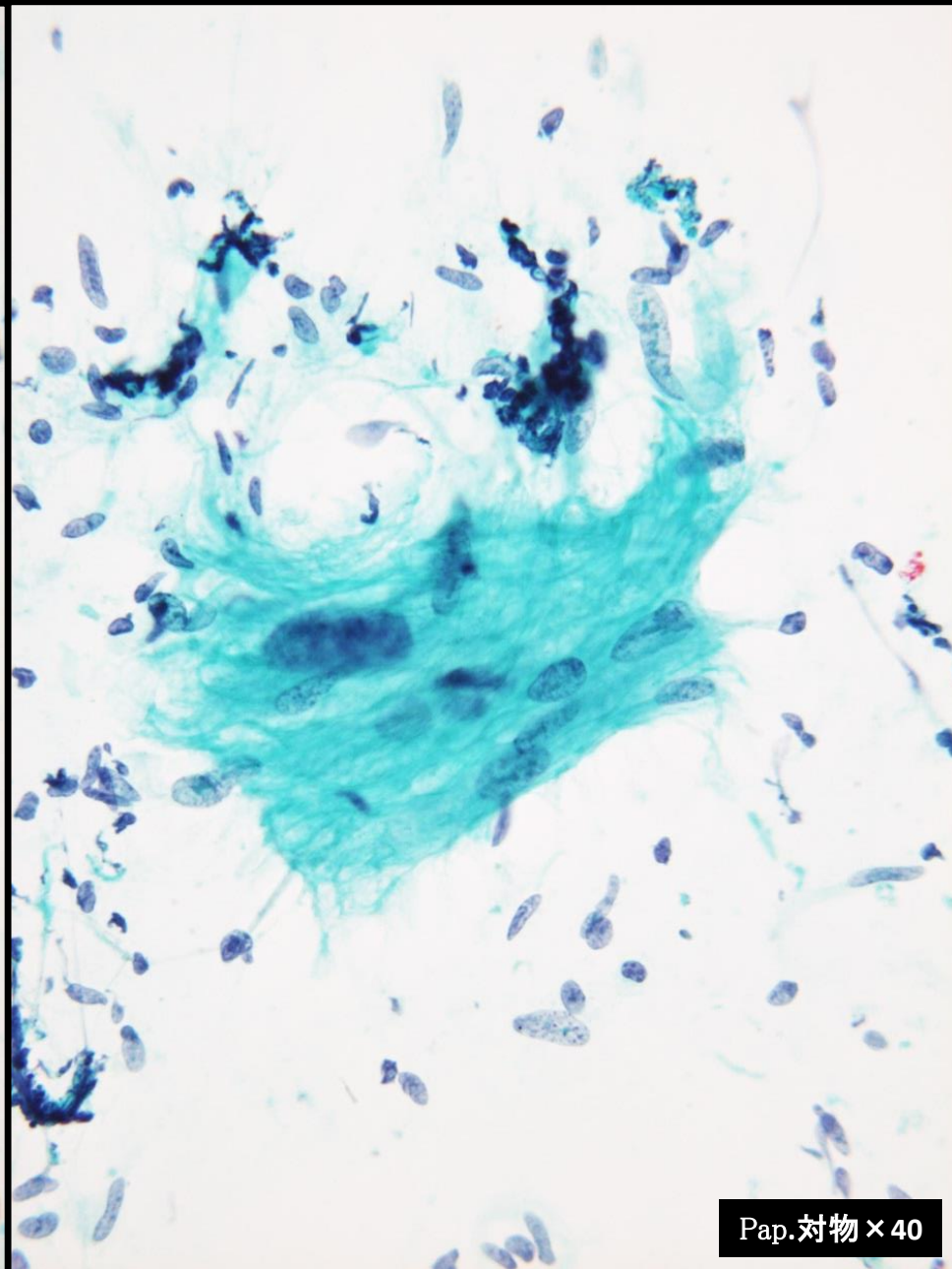








Pap.对物 × 40



Pap.对物 × 40